スパースモデリングを用いた 光回路設計

B2180800 木立隼人

背景

シリコンフォトニクスの実用化により、光回路の 製造技術が大幅に進んでいる。一方で、設計技術 は設計の効率化が進んでいない。

目的

光回路設計にスパースモデリング技術を導入することで設計時間の短縮化を図り、その効果を検証する。